

アメリカザリガニ捕獲トラップ誘引餌の検討

シナイモツゴ郷の会 高橋清孝・佐伯光広・君島裕介

1 各種誘引餌捕獲試験（キッチンネット使用、2015年）

アナゴカゴを使用し各種餌について検証した結果、ドッグフードがカタクチイワシと同等の誘引効果を有することがわかった。

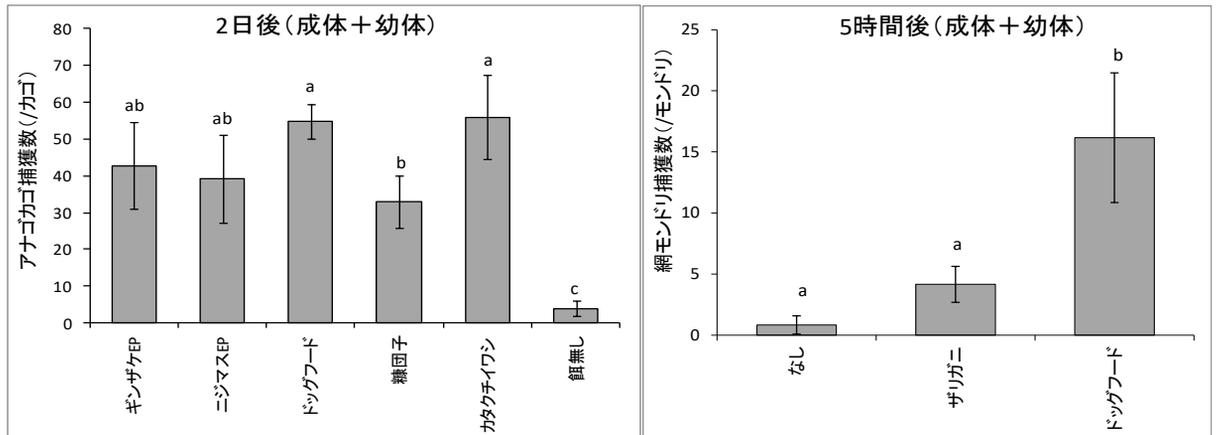


図1 各種誘引餌の捕獲効果試験結果（2015年、アナゴカゴ）

2 穴あきタッパーウェアによる誘因期間延長（2015年）

穴あきタッパーウェアにドッグフードをいれる給餌方式により、蝟集効果が1週間持続することを確認した。

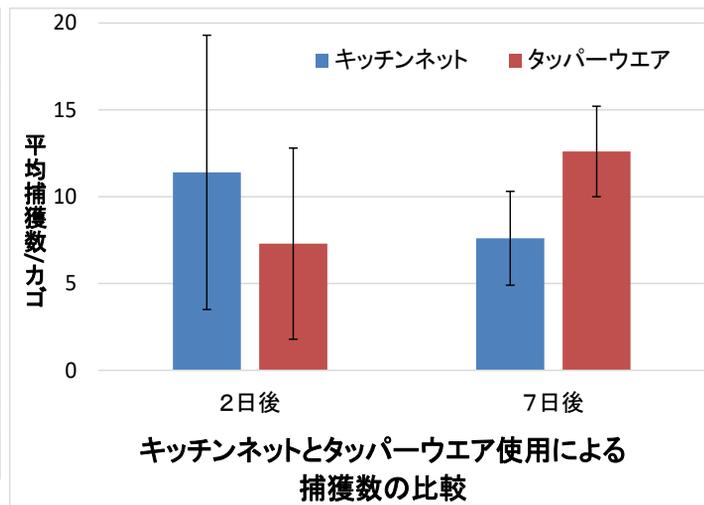


図2 タッパーウェアによる誘引効果の延長（2015年、アナゴカゴ）

3 大量捕獲可能な連続捕獲装置の開発（2016～2019年）

① ドッグフードを誘引餌として自動給餌機搭載型連続捕獲装置を開発。週1回の作業で大量捕獲が可能になった。

自動給餌機搭載・縦型捕獲装置の開発2016年



②2019年にコストダウンと深所における利用を可能にするため、自動給餌機を搭載しないタッパーウェア給餌型の連続捕獲装置を開発した。

自動給餌機を使わない横型捕獲装置の開発2019年



3 米糠の誘引効果試験（2015～2023年）

①2015年：アナゴカゴとお魚キラーを使い、キッチンネットに餌を入れ捕獲試験。

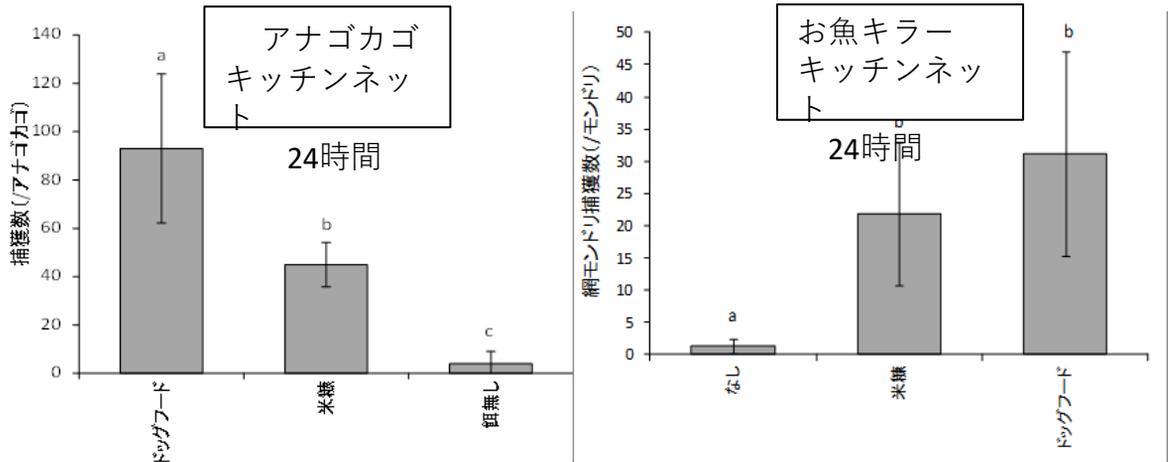


図 米糠誘引効果試験（キッチンネット使用、2015年）

キッチンネット使用ではドッグフードが米糠より誘引効果が高かった。

②2023年：アナゴカゴを使用し、穴あきタッパーウェアに餌を入れる給餌方式で試験。

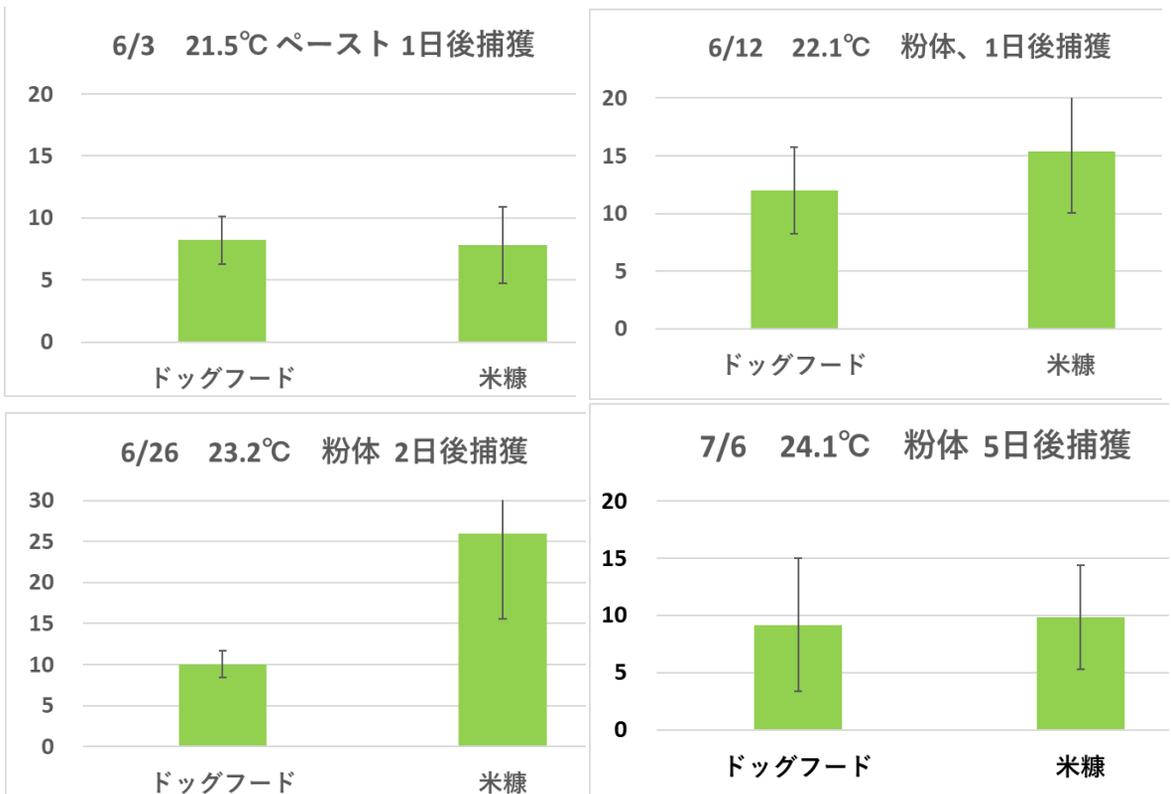


図 米糠誘引効果試験（穴あきタッパーウェア使用、2023年）

穴あきタッパーウェア使用時の平均捕獲数は米糠とドッグフードでほぼ同等だった。

4 米糠誘引効果実証実験 (2023年)

3.5haの大規模ため池で、穴あきタッパーウェアを使い米糠とドッグフードを誘引餌として連続捕獲装置各10台で捕獲実験を行った。7月1日〜9月22日に設置し週1回捕獲回収し平均捕獲数 (CPUE) を求めた。

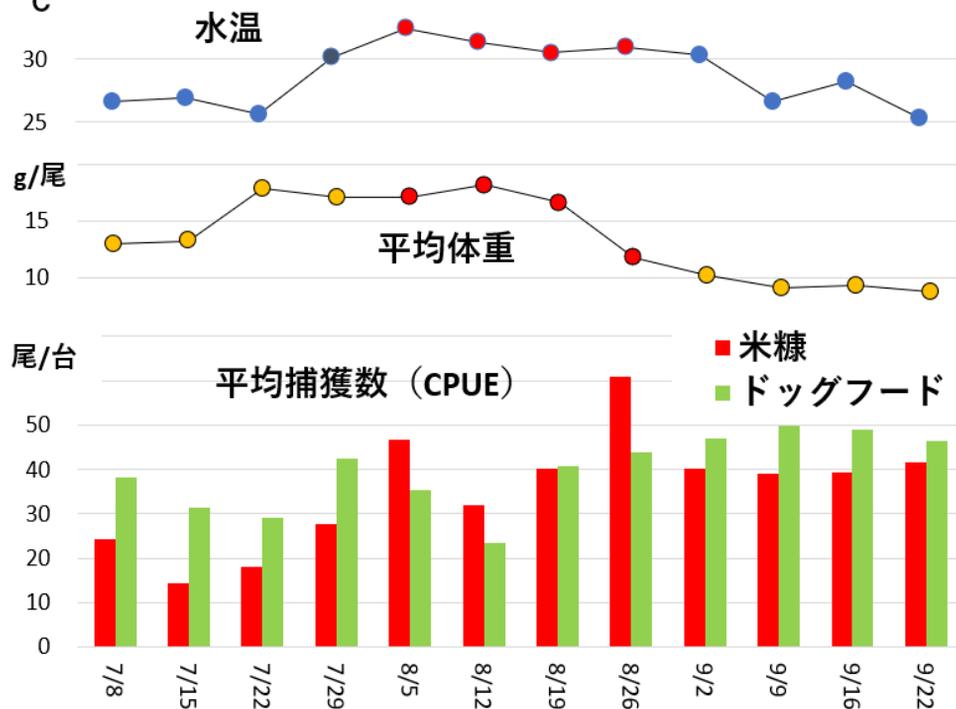


図 誘引餌の種類別平均捕獲数、平均体重、水温

2023年 大規模ため池 各10台の連続捕獲装置で捕獲

表 連続捕獲装置によるドッグフードと米糠の平均捕獲数 (尾/台)

捕獲数 誘引餌	低水温時6回の平均捕獲数 25.3~30.3°C	高水温時6回の平均捕獲数 30.5~32.4°C
ドッグフード	40.7 ± 8	38.1 ± 7.6
米糠	29.4 ± 12.3	41.2 ± 10.7

まとめ

米糠の平均捕獲数は30.5°Cの高水温時にドッグフードを上回ったが、30.3°C以下ではやや下回った。今後、給餌量や穴あきタッパーウェアの構造など検討必要。米糠はドッグフードに比べ、やや、誘引効果は低い可能性があるものの、無料入手できるので選択枝の一つになり得る。なお、タッパーウェアの穴をむやみに増やし過ぎて、米糠の流出量を増大させると環境負荷の原因になるので注意を要する。